

令和6年度東南アジア地域技術交流運営委託事業

報告書（概要版）

1. 業務の目的

本事業では、インドネシア共和国（以下「インドネシア」という。）、ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」という。）、タイ王国（以下「タイ」という。）、INWEPFメンバー国（韓国）と実施する技術交流により、開発途上国やINWEPFメンバー国における農業農村開発分野の技術的課題を共有し、解決策等を提案することにより、これらの国の農業農村分野の発展、我が国の農業農村開発技術の更なる普及等を図ることを目的としており、本業務ではこれの運営を支援した。

2. 業務の概要

2.1. インドネシア共和国との技術交流の運営支援

農林水産省農村振興局（以下「農村振興局」という。）とインドネシア公共事業・国民住宅省水資源総局との間で署名された「かんがい排水技術交流に関する議事録」に基づき、両局間で実施する技術交流を令和7年2月5日にオンラインで開催。日本側は鷲野健二海外土地改良技術室長、インドネシア側はBastariかんがい沢沼局長を代表とした。

技術交流では、「気候変動対策としてのかんがい排水管理について」をテーマとして、計6件の発表と意見交換が行われた。



オンライン参加者集合スクリーンショット

2.2. ベトナム社会主義共和国との技術交流の運営支援

農村振興局とベトナム農業農村開発省水資源局（旧：水資源総局）との間で署名された「かんがい排水分野の技術交流に関する協力覚書」に基づき、両局間で実施する技術交流を令和7年2月25日～28日にベトナムで開催。日本側は鷲野健二海外土地改良技術室長、ベトナム側はTung Phong Nguyen水資源局長を代表とした。

技術交流では、政策対話は「かんがい排水政策に関する近年の動向」、技術セミナーは「気候変動下における水資源管理と農業水利施設の整備・保全」をテーマとして、計6件の発表と意見交換がされた。

また、現地視察では、Cau Xe 水門、An Haiかんがい管理会社（IMC）を訪問し、担当の技術者等からの説明を受けた。



技術交流集合写真（農業農村開発省会議室）



Cau Xe 水門



An Hai IMC 視察

2.3. タイ王国との技術交流の運営支援

農村振興局とタイ農業・協同組合省王室かんがい局（以下「タイ王室かんがい局」という。）との間で署名された「かんがい排水分野の技術交流に関する協力覚書」に基づき、両局間で実施する技術交流を令和7年2月16日～19日に日本で開催。日本側は鷺野健二海外土地改良技術室長、タイ側はSuriyapon Nuchanong局長を代表とした。

最初に、タイ側は青山健治農村振興局次長を表敬訪問した。

技術交流では、政策対話は「かんがい排水政策に関する近年の動向」、技術対話は「ほ場整備と水管理の近代化、課題への対処」をテーマとして、計7件の発表と意見交換がされた。

また、現地視察では、農研機構農村工学研究部門及び関東農政局茨城中部農地整備地区を訪問し、担当の職員等からの説明を受けた。



技術交流



農研機構農村工学研究部門



茨城中部農地整備事業

2.4. INWEPF メンバー国との農業農村開発に関する二国間交流に関する運営支援

国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF）の活動を推進するに当たり、INWEPF メンバー国と行う二国間交流として、韓国との二国間技術交流を令和7年2月12日～14日の日程に日本で開催。日本側は鷺野健二海外土地改良技術室長、韓国側は農業畜産食品部のSuwoong Cho氏を代表とした。

最初に、韓国側は青山健治農村振興局次長を表敬訪問した。

技術セミナーでは、「農村振興政策とかんがい技術」をテーマとして、計10件の発表と意見交換がされた。

また、現地視察では、仙台東土地改良区及び東北農政局河南二期地区を訪問し、担当の職員等からの説明を受けた。



技術セミナー



河南二期地区 現地調査